



あさがお プロジェクト

「子どもたちと朝から一番の笑顔を」

2022年度 活動報告 & 2023年度活動計画

日本大学文理学部・あさがおPJ



すずき はな

日本大学大学院文学研究科哲学専攻 卒業

力ク ウキン

日本大学大学院文学研究科教育学専攻 卒業



なみちゃん

日本大学文理学部社会学専攻 2年



わこ

日本大学文理学部社会福祉学専攻 2年

あさがお チームメンバー

レイキ

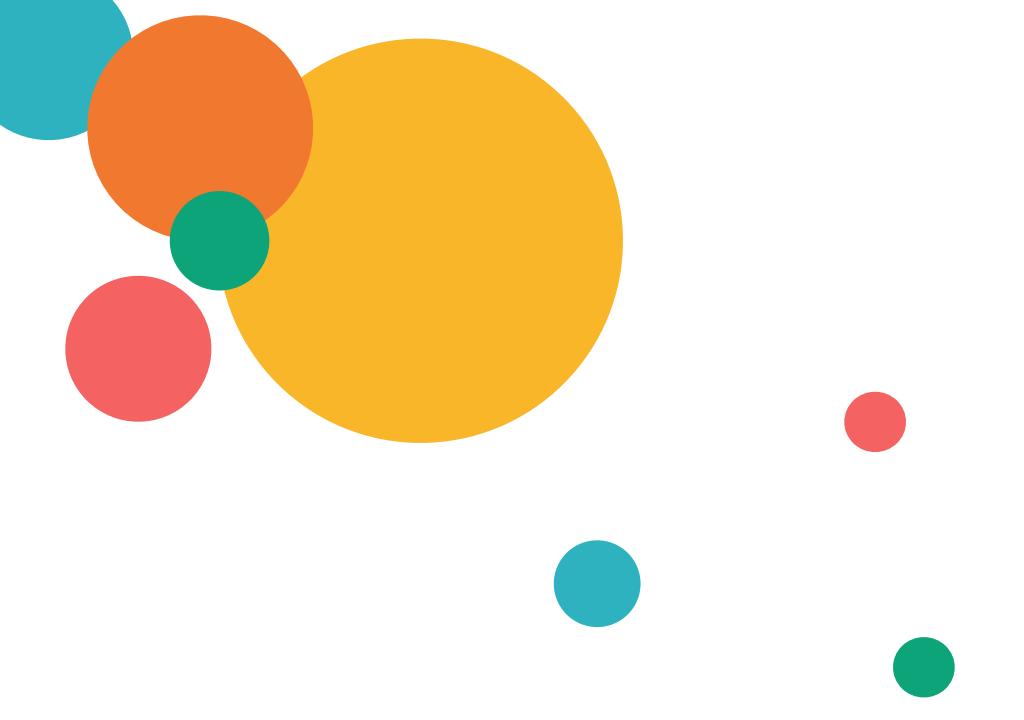
日本大学文理学部教育学専攻 3年

ヨウ

日本大学大学院文学研究科教育学専攻 1年

技術部





あさがおプロジェクトは、子どもの貧困対策の一環として「朝から子どもたちと一番の笑顔を」をコンセプトに掲げた朝食応援プロジェクトです。日本大学文理学部を拠点として、応援者と子どもたちが直接に繋がる「食」を通じた互助コミュニティを目指しています。





あさがお
プロジェクト

応援理念



気軽に受けられる応援

日常生活に馴染む応援の仕組み



食を通した出会い

いろいろな人たちと出会い
さまざまな価値観に触れる



互助コミュニティづくり

応援の仕組みを定着すること
によって、互助のお手伝い

あさがおで実現したこと



世田谷区内の子どもたち**27名**

にごはんや季節の体験を届ける
ことができました

子どもたち**約150名**

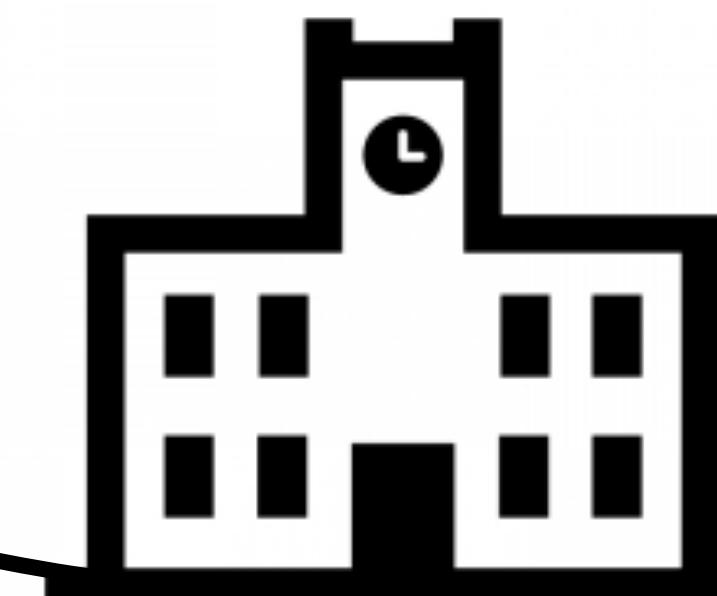
と科学フェスタを通して
小さな幸せと一緒にシェアする
ことができました

世田谷区社会福祉協議会の方
とつながることができました



日大文理の学生**15名**

の方たちがボランティア活動に
ご参加くださいました



日本大学文理学部



あさがお プロジェクト

「子どもたちと朝から一番の笑顔を」

2022年度 活動報告

日本大学文理学部・あさがおPJ



あさがおプロジェクト × 下川町

朝日新聞主催 大学SDGs ACTION! AWARDS 2022

自治体賞 <北海道下川町> 賞

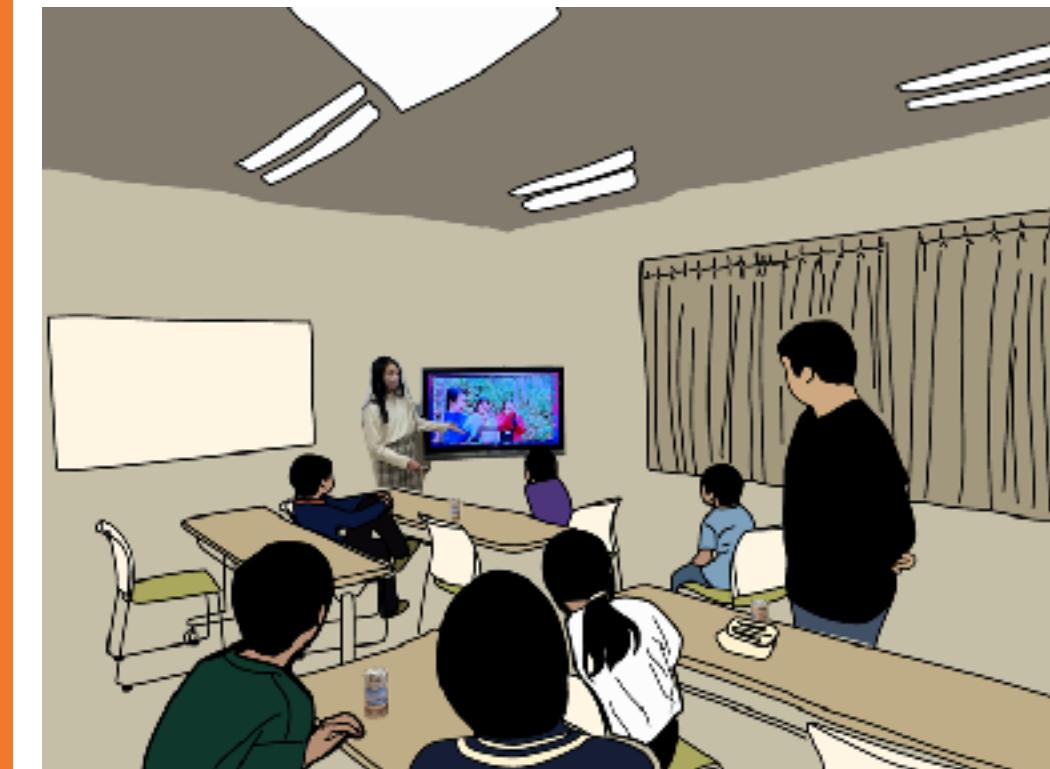


北海道下川町の視察

4/21～4/24



子ども食堂へ 下川町特産物を プレゼント



朝日新聞



子どもの食、地域で支えたい

大学SDGs ACTION! AWARDS 2022



自治体賞<北海道下川町>賞 受賞



朝日新聞主催【大学 SDGs ACTION! AWARDS 2022】で
あさがおプロジェクトが自治体〈北海道下川町〉賞を受賞
低予算かつ手軽にコピー可能であるアイデアが評価されました

動画はこちらから [👉](#)



コンセプトムービー



活動概要

北海道下川町の視察 4/21～4/24



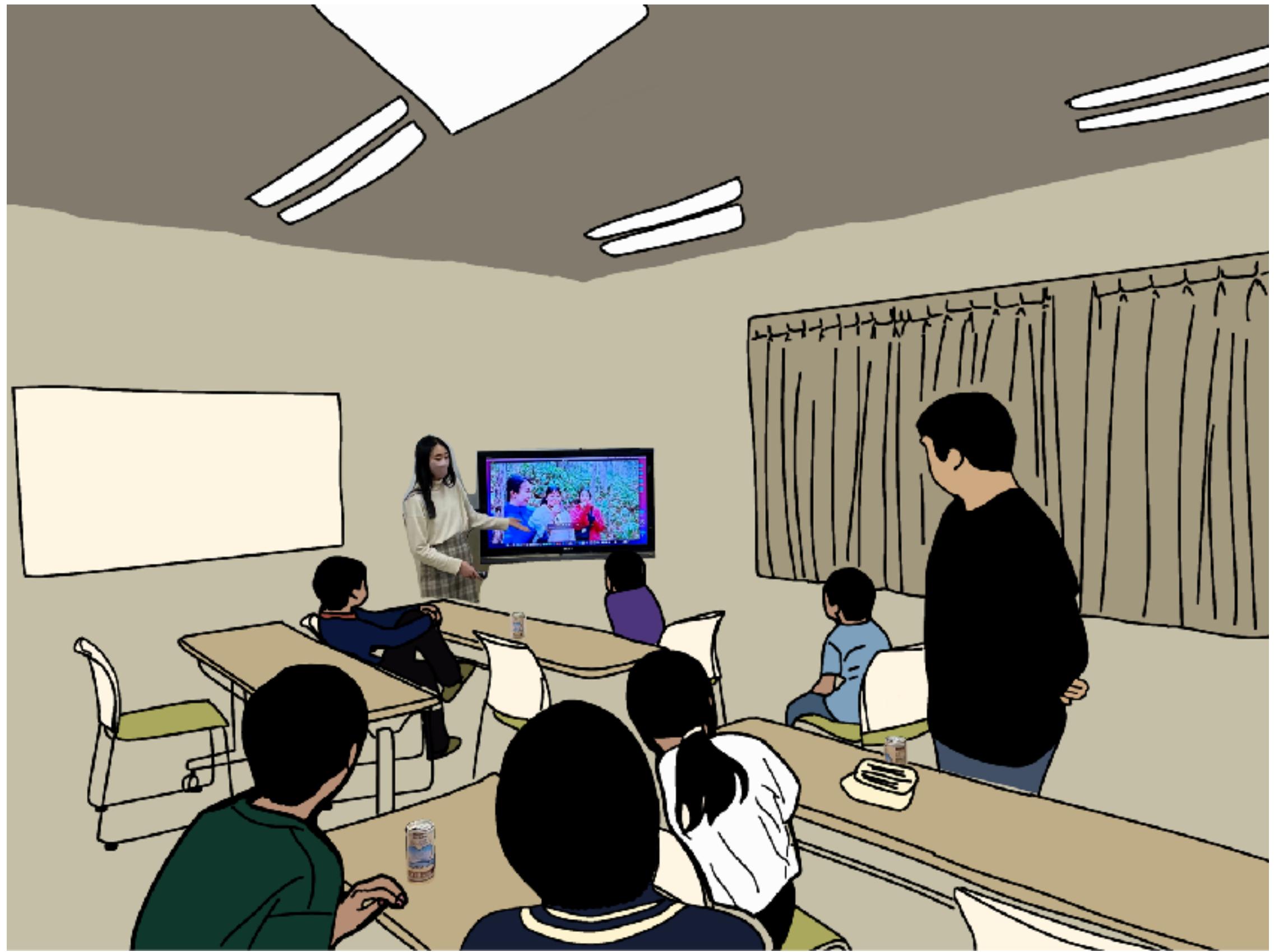
北海道下川町の視察 4/21～4/24

町のみなさんから下川町のお話や
教育委員会や町役場の方から教育について
お話を伺いました

また、町の子どもたちともふれあい
さまざまなことを学びました

活動報告ブログは [こちら](#)





子ども食堂へ
下川町特産品をプレゼントしました
子どもたちにとって嬉しいサプライズになった
みたいです

活動報告ブログは [こちら](#)

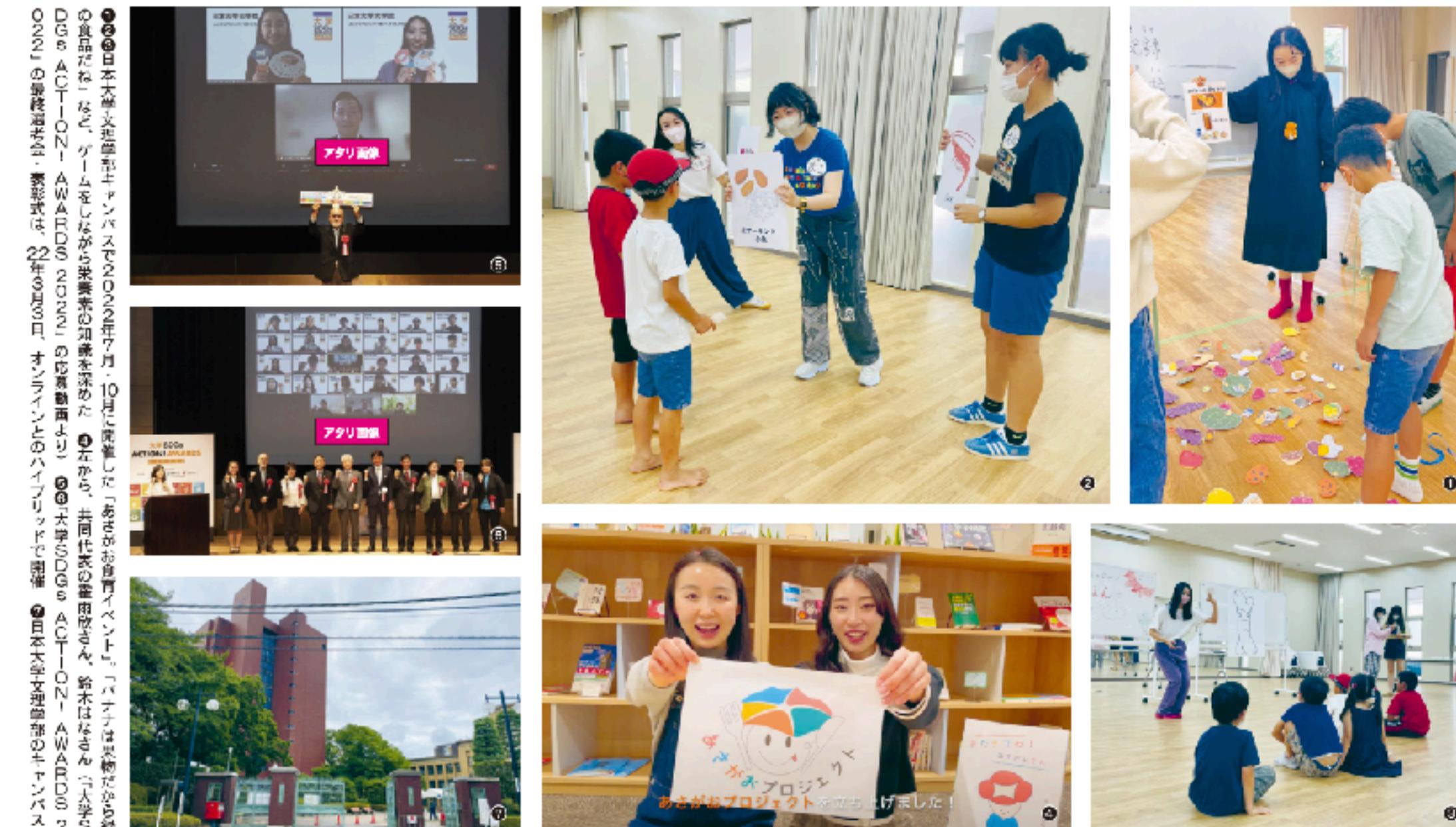




朝日新聞

中高生のための朝日SDGsジャーナル などに掲載

詳しくは [こちら](#)



子どもの食、地域で支えたい

おなかいっぱいになるまで、ごはんを食べられない。朝ごはんを食べられず、午前中の授業から身が入らない——。これは現実の子どもの生活ではありません。身近なところにある「子どもの貧困」を解決したいと動き出したのは、日本大学大学院の学生たち。コミュニティの一員もが参加できる支援のあり方を模索しています。



食育イベントの開催

第1回あさがお食育イベント
「心と体の元気のひみつ『朝ごはん』
でミッションチャレンジ！」



第2回あさがお食育イベント
「ハロウィンたのしもう会～
カボチャからの招待状～」



第1回あさがお食育イベント



「心と体の元気のひみつ『朝ごはん』で
ミッションチャレンジ！」



第1回あさがお食育イベント
「心と体の元気のひみつ『朝ごはん』
でミッションチャレンジ！」

を開催しました
カルシウムをテーマにミニゲームやクイズを通して
楽しく学びました

子どもたち参加人数：9人
ボランティア人数：9人
活動報告ブログは [こちら](#)

第1回あさがお食育イベント



「心と体の元気のひみつ『朝ごはん』で
ミッションチャレンジ！」

日大新聞に掲載

文理 あさがおプロジェクト

食の大切さを伝える



「カルシウム」に関するクイズを出題

子どもの貧困問題に注目し、「すべての子どもたるよつや世界になつてほしい」という思いから始めた。文理学部の次世代社会研究センター（R.I.N.G）で2021年から始動。初の食育イベントが7月30日、文理学部のサマースポーツ＆ジムナスティックスセンターで行われた。

代表の鈴木はなさん（大学院文学研究科哲学専攻博士前期課程2年）は「継続性のあるイベントにしたい。また、いざれは文理学部の食堂を地域に開放し、学生や教職員からの寄付金を使って子どもたちと食事をするボランティアの同学部生6人とプロジェクトの中員からも定着させていきたい」と話した。

ボランティアの同学部生6人とプロジェクトの中員からも定着させていきたい」と話した。

第2回あさがお食育イベント



「ハロウィンたのしもう会～カボチャからの招待状～」



第2回あさがお食育イベント
「ハロウィンたのしもう会～
カボチャからの招待状～」

を開催しました

カボチャをテーマにミニゲームやクイズを通して
楽しく学びました

子どもたち参加人数：18人
ボランティア人数：6人
活動報告ブログは [こちら](#)



科学フェスタへの出展

千葉市科学フェスタ2022



サイエンスアゴラ2022





あさがおプロジェクト × 高大連携

高大連携に参加 2022年12月～2023年3月

高大連携2回目
「〇〇支援」で思い出した言葉
例:「若者支援」

- ・生活支援
- ・子育て支援
- ・復興支援
- ・難民支援
- ・教育支援
- ・児童支援
- ・介護支援
- ・学習支援

自分は支援を受けるか?
↓
・福利厚生で基準はある。
・支援はイメージ悪いから。
・

→ 対象は?
例: 子ども支援は親権者が対象?
生活支援: 失業者など収入のない人。
特別支援: 障がい者など。
学習支援: 言語的に隔たりのある人への通訳として。
奨学金: 大学の掲示する条件を満たした生徒に。
教育支援: 学校活動に必要なものへの支払いが経済的に困難な人。

【課題】
・興味を持った任意の支援に関して、支援金の出所などを含め具体的に調べてもらう。

・支援について気になった(ただの感想、モヤッた等なんでもいい)点をまとめる。

Q. 調べる支援を絞る?
A. 絞らない



他にもいろいろな活動に取り組みました！

チョイふるのイベント「社会起業の裏話」
に参加&プレゼン



桜麗祭にオンラインで参加
詳しくは こちら

第30回桜麗祭

ホーム 桜麗祭とは 企画 ゲスト企画 協賛 他学部・他大学園祭紹介 アクセス Q

企画紹介
あさがおプロジェクト
あさがおプロジェクトの理念や今までの活動を動画で紹介します。

団体紹介
あさがおプロジェクト
朝から子どもたちに一番の笑顔を届ける朝食応援プロジェクトです。

ホームページ : <https://asogao18ers.jp/>
Youtube : <https://youtu.be/50oc9Nt9zgs>
Twitter : [@asogaojp](#)



<RINGS寄付金>

第1回食育イベント

	品目	代金
	持ち帰り用食品	9,112
	イベント消耗品	12,180
	学生からの寄付	3,000
合計		26,302

第2回食育イベント

	品目	代金
	持ち帰り用食品	22,571
	イベント消耗品	13,583
合計		36,154

総支出：59,456円

<大学SDGs>

	品目	代金
	下川町視察	118,952
	第1回食育イベント消耗品	4,390
	第2回食育イベント消耗品	4,455
合計		127,797

総支出：127,797円

残り：52,203円



あさがお プロジェクト

「子どもたちと朝から一番の笑顔を」

2023年度 年間活動計画

日本大学文理学部・あさがおPJ

あさがおで実現したいこと



世田谷区内の子どもたち**80名**
にごはんを届ける

子どもたち**約200名**
と科学フェスタを通して
小さな幸せと一緒にシェアする

世田谷区社会福祉協議会をはじめ、
世田谷子ども家庭課やその他のこども応援団体とより積極的に連携して
活動していきます。

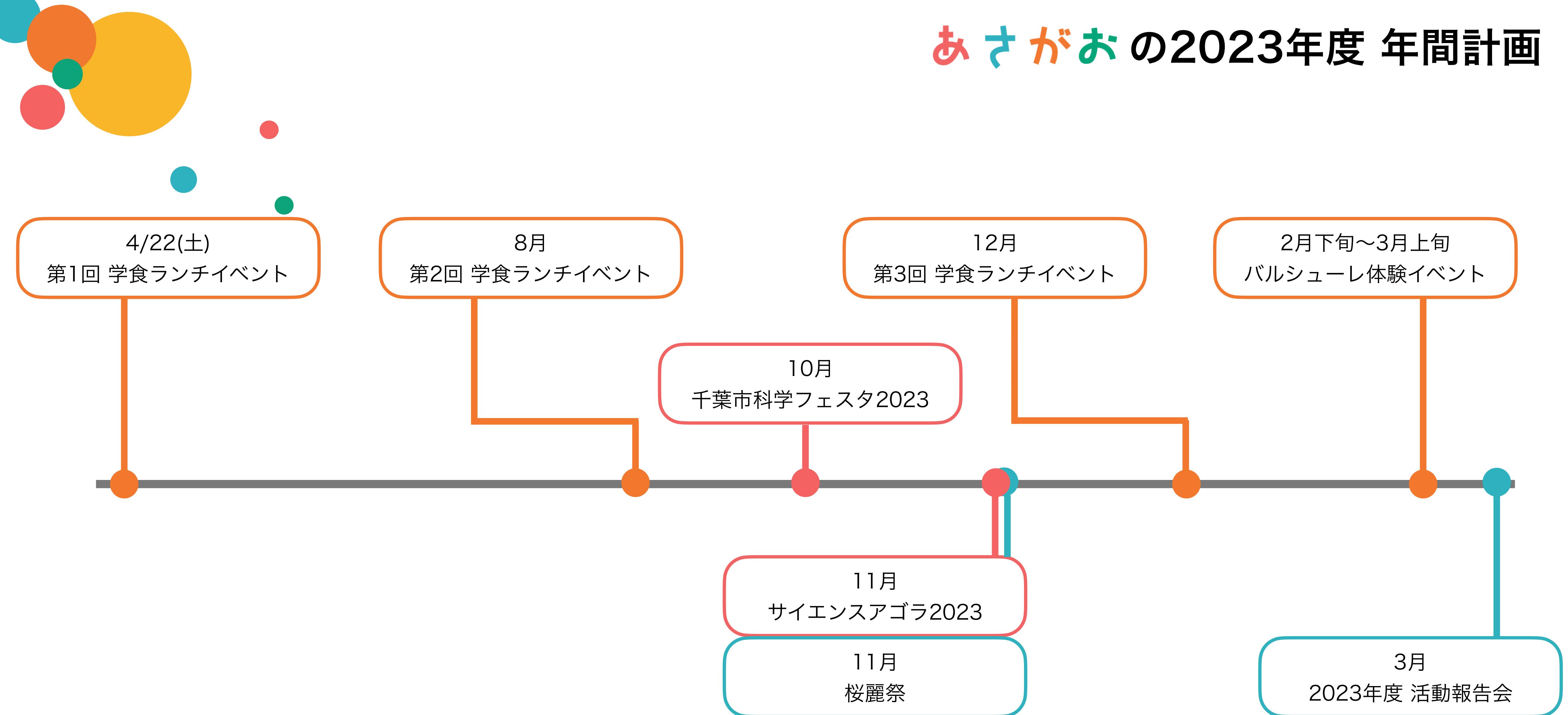


日大文理の学生**20名**
の方たちにボランティアとして
活動していただく

日本大学文理学部



みさがおの2023年度 年間計画





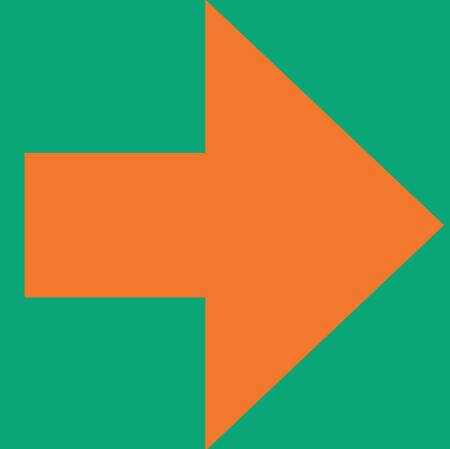
学食ランチイベント

2022年度



メインテーマ：
食についての知識の提供

参加人数：27名



2023年度



メインテーマ：学食の提供
参加人数：80名



バルシューレ体験イベント スポーツイベント



大学の専門性を活かす
文理学部の専門性を活かした
プログラム



みんなが楽しめる設計
障害のあるなしや、
はじめて体験する人でも、
初対面の人とでも、
みんなが楽しめるような設計



<RINGS寄付金>

2023年度申請予算：200,000 円

第1回～第4回 各 学食ランチイベント予算：約 50,000円

	品目	代金
	児童・保護者用学食代 (50人分 × 400 円)	20,000
	持ち帰り用食品	約20,200
	イベント消耗品	約5,000
	参加者保険加入料	5,150
合計		50,000

あさがおで実現したいこと



「食」で日大文理エリアの絆を結ぶ

日大文理おいしいコミュニティ



日本大学文理学部

Webサイト
はこちら



LINE
はこちら

あさがおプロジェクト

2022年度活動報告

& 2023年度活動計画

2023年4月8日(土)
10:00-11:00 @zoom

